

伊勢・三河湾貧酸素情報（R6-1号）

令和6年6月7日

愛知県水産試験場 漁場環境研究部

はじめに

今年度も6月から10月まで、伊勢・三河湾の貧酸素水塊の発達状況について、現況と予測の情報を提供します。

データは、三重県水産研究所が「あさま」で実施する浅海定線調査、愛知県水産試験場が「海幸丸」、「へいわ」で実施する環境調査等の結果を利用し、月2、3回程度情報提供する予定です。

情報は速報値であるため、後日、補正等で修正される場合もありますので、ご承知おきください。

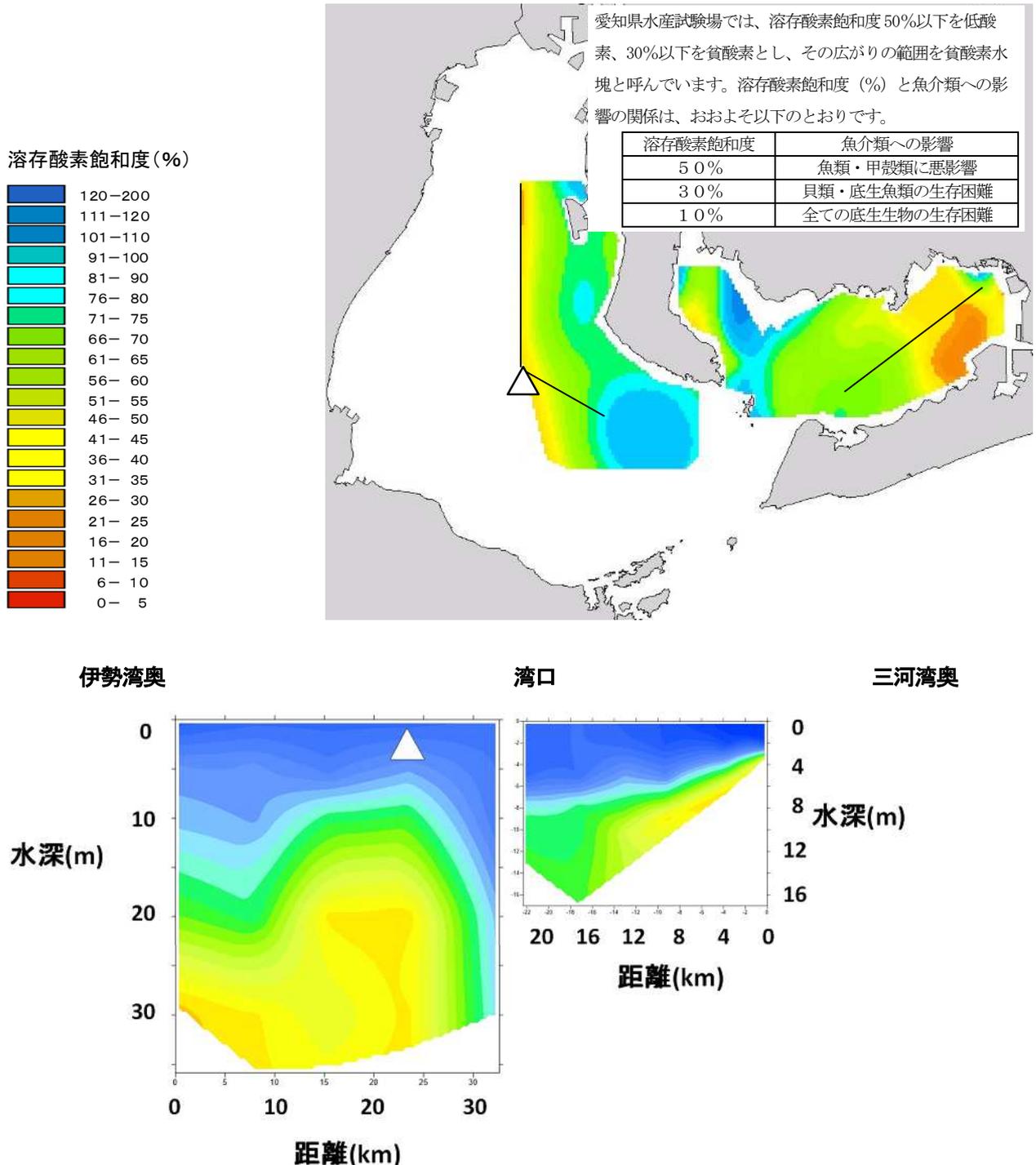


図1 伊勢湾（6月3日）三河湾（6月4、5日）底層の溶存酸素飽和度の分布（上図）及び上図直線部分の鉛直分布（下図）（愛知県「へいわ」調査）

伊勢湾

6月3日の調査結果を図1に示しました。伊勢湾の北部で一部、溶存酸素飽和度30%以下の貧酸素水塊が確認されました。今後は表層の水温上昇と梅雨の降雨によって成層が発達し、底層で貧酸素水塊が拡大すると考えられます。

表1 調査時の水温・塩分

	水温(°C)	塩分
表層	20.1~22.7	23.4~29.4
底層	16.0~20.2	30.3~33.9

三河湾

6月4、5日の調査結果を図1に示しました。渥美湾の奥部で一部、貧酸素水塊が確認されました。今後は伊勢湾同様、表層の水温上昇と梅雨の降雨によって成層が発達し、底層で貧酸素水塊が発生すると考えられます。

表2 調査時の水温・塩分

	水温(°C)	塩分
表層	20.2~23.5	24.7~31.5
底層	18.8~21.7	27.5~33.1

参 考

前年同期の両湾底層の溶存酸素状況

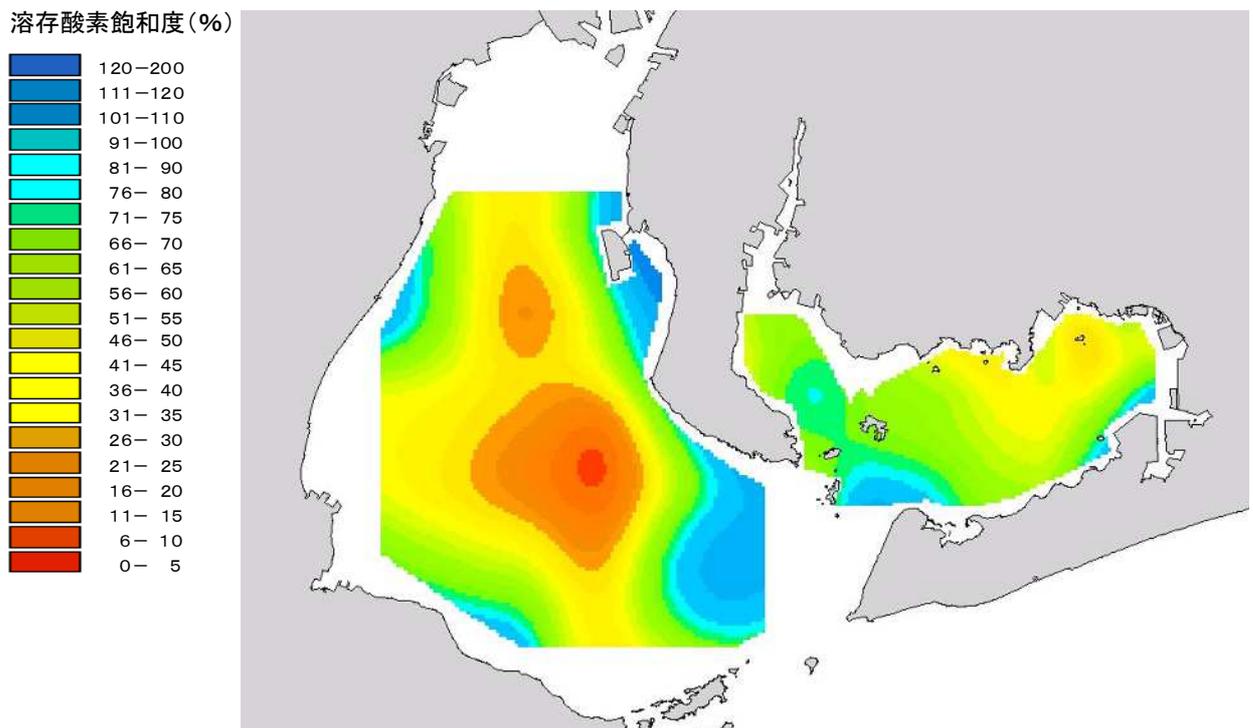


図2 令和5年6月7、8日(伊勢湾)、6月6、7日(三河湾)